

食のまちづくりを推進していきます

照 会 健康づくり課 ☎0537⑤1123

本市は、静岡県最南端に位置し、気候は温暖で日照時間は全国でもトップクラスです。さらに、遠州灘や駿河湾、牧ノ原台地に囲まれている風土により水産物や農畜産物が豊富に収穫できることから、農林水産業は市の主要産業の一つになっています。

一方、少子化などが原因で農林水産業の担い手不足が深刻な問題となっています。また、流通や販売形態の多様化、食生活の変化などにより、食を取り巻く環境も大きく変化しています。これらに柔軟に対応し、貴重な地域の食資源を守り、育てる取り組みが、現在必要となっています。

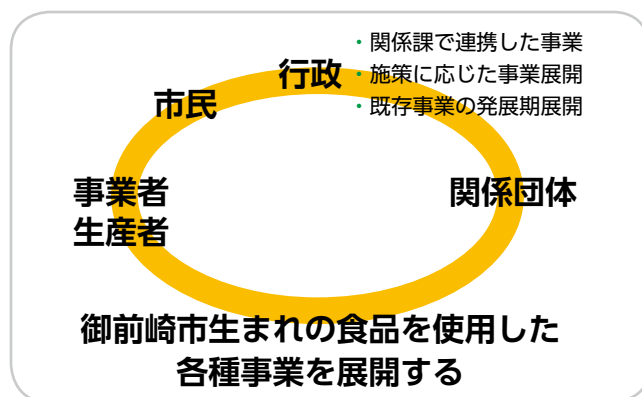
「食」は人が生きていく上で欠くことのできないものです。また、心と体を育むための貴重な要素でもあります。健康で豊かな生活を送るためには、食を通じた人づくりも重要になります。

これらを「食のまちづくり」として、市、市民、事業者、関係団体などが自ら参画し、協働して取り組むことで、人も地域も輝く、魅力あふれる御前崎市をつくることを目的に条例が制定されました。



【基本理念】

- ①食を育む自然環境の保全
- ②食を通じた健康の維持管理
- ③食育の推進
- ④食を通じた産業の振興
- ⑤地域の食文化と伝統の尊重および地産地消の推進
- ⑥食の安全性の確保
- ⑦市民などの自発的な取り組みの尊重と相互連携



海洋プラスチックごみ問題をご存じですか？

照 会 環境課 ☎0537⑤1162

現在の暮らしの中で、大半の製品に使用されているプラスチック。そのプラスチックが今、世界で大きな問題となっています。

ポイ捨てされたプラスチックごみは、毎年800万トンが海へ流れ込み、世界の海には現在1億5千万トンのプラスチックごみがたまっているといわれています。このままいくと2050年には、海にたったプラスチックごみが海にいる魚よりも多くなるという予測も出ています。

ごみの影響で海の生物にも影響が出ています。本市の海岸で産卵するアカウミガメも例外ではなく、ビニール袋を間違えて食べて死んでしまうこともあります。

こうした問題を解決するためにみんなで「6R」に取り組みましょう。

【6Rとは】

- | | |
|----------------|--------------------|
| リデュース(Reduce) | 無駄なごみを出さない |
| リユース(Reuse) | くり返し使う |
| リサイクル(Recycle) | 資源に戻し再利用する |
| リフューズ(Refuse) | 不要なものを断る |
| リターン(Return) | 製品の店頭回収や持ち帰り |
| リカバー(Recover) | 海岸や河川の清掃活動や街中のごみ拾い |

6Rを徹底することがプラスチックごみを減らすことにつながります。できることから始めましょう。

